# スッキリわかるサーブレット & JSP 入門 第 13 章を MySQL を 使ってやってみる Ver1.2

# Seiichi Nukayama

# 2021-12-23

# 目次

1	JDBC ドライバーをインストールする	1
1.1	ダウンロード	1
1.2	インストール	1
1.3	jdbc ドライバのインストール	2
1.4	補足	2
2	データを準備する	3
2.1	MySQL:ユーザーの作成	3
2.2	データベースの作成	3
2.3	サンプルデータを入れる	4
3	サンプルプログラム (p383) の作成	5

### 1 JDBC ドライバーをインストールする

JDBC ドライバーを Windows にインストールするのは、ネットで調べてもちょっとわかりにくいかもしれない。情報が古いこともある。また、Oracle が Web サイトをけっこう頻繁に模様替えしてるのもある。

#### 1.1 ダウンロード

まず、ここにいく。

https://www.mysql.com/jp/products/connector/

JDBC Driver for MySQL(Connector/J) の行の **ダウンロード** をクリックする。

https://dev.mysql.com/downloads/connector/j/ のページに遷移するので、ここのところからインストールする。

"Connector/J 8.0.27" と書かれているところの "Select Operating System..." から、Windows を選択する。 Windows は、その下の "MySQL Installer for Windows" をインストールして、それを使ってインストール することになる。

大きなバナーをクリックするか、その下の"Windows (x86, 32 & 64-bit), MySQL Installer MSI"の横の"Go to Download Page >"をクリックする。

MySQL Community Downloas/MySQL Installer 8.0.27 というページが開き、少し下に "MySQL Installer 8.0.27" というコラムがある。 "Generally Available (GA) Releases" とある。

その中に二つの Download ボタンがある。

上は、"Windows(x86, 32-bit), MSI Installer 8.0.27 2。3M"とある。ダウンロードファイルは、"mysql-installer-web-community-8.0.27.1.msi"

下は、"Windows(x86, 32-bit), MSI Installer 8.0.27 470.2M"とある。ダウンロードファイルは、"mysql-installer-community-8.0.27.1.msi"

結論から言うと、下の方をダウンロードしたほうがうまくいった。でも、どちらを選んでもできることは同じようである。

#### 1.2 インストール

上記ファイルをクリックすると、"Login Now or Sign Up for a free account"とあって、ユーザー認証/登録を促される。別に登録してもかまわない。

ここでは、左下の"No thanks, just start my download"を選択する。

ダウンロードフォルダに "mysql-installer-community-8.0.27.1.msi" がダウンロードされる。このファイルをダブルクリックして **インストール** を始める。

「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と聞かれるので、「はい」をクリックする。

"Choosing a Setup Type"のダイアログが開く。ここではインストールするものを選べる。通常は、"Developer Default"を選択するのだが、今回は、「JDBC ドライバー」のみ必要なので、一番下の"Custom"を選択して、"Next"。

"Select Products and Features"のダイアログが開く。"MySQL Connectors"の項目の「+」をクリックする。

"Connector/J" - "Connector/J 8.0" - "Connector/J 8.0.27-X86" とクリックすると、右側の矢印が緑色に変わるので、その矢印をクリックする。

すると、右側に "Connector/J 8.0.27-X86" が表示される。 "Next" をクリックする。

"Installation"のダイアログが開く。"Connector/J 8.0.27" が表示されており、"Ready to Install" となっている。下の"Execute" ボタンをクリックする。

"Complete" となる。 "Next" をクリックする。

"Installation Complete" となり、 "Copy Log to Clipboard" ボタンを押しておく。 "Finish" ボタンをクリックして終了。

コピーしておいたログをメモ帳などで見てみると、どこにインストールされたかわかるので、のちに役立つ。このログは "connector-j.log" とでも名前をつけて保存しておく。

# 1.3 jdbc ドライバのインストール

このドライバファイルは、Tomcat がインストールされているディレクトリの lib ディレクトリに置く。

#### 1.4 補足

MySQL Connector/J 8.0 については、以下のように書かれてある。

MySQL Connector/J 8.0 is highly recommended for use with MySQL Server 8.0, 5.7, 5.6, and 5.5. Please upgrade to MySQL Connector/J 8.0.

(MySQL Connector / J 8.0 は、MySQL Server 8.0、5.7、5.6、および 5.5 で使用することを強くお勧めします。 MySQL Connector / J 8.0 にアップグレードしてください。by Google 翻訳)

MySQL5.7 などでも使えるようである。

# 2 データを準備する

p383 のコードを入力する前に、このコードで使っているデータを MySQL で準備しておかなくてはならない。

#### 2.1 MySQL:ユーザーの作成

XAMPP などで、MySQL を動作させておく。

まず、MySQL で使用するユーザーを用意しなくてはならない。ROOT のままだと、他のデータベースにもアクセス可能なので、実際にはそのデータベースにのみアクセス権限が与えられているユーザーを作成することになる。しかし今はお試しでプログラムを作成しているので、ユーザー名とパスワードは簡単なものにしておく。

ユーザー名: sa パスワード: (なし)

本 (p383) ではパスワードは設定されていないので、同じようにしておく。

1. MySQL にルートでログインする。

Windows のコマンドプロンプトで、以下のようにする。

> mysql -u root -p

Password: \*\*\*\*

(多くの場合、パスワードは設定されていないか、もしくは root である)

2. ユーザーを作成する。

```
mysql> create user 'sa'@'localhost' identified by ''; (ユーザー"sa" を作成し、パスワードを"" としている)
```

3. そのユーザーにこれから作成するデータベースへの権限を与える。

```
mysql> grant all on example.* to 'sa'@'localhost'; (データベース名は "example" で、それに関連する全てのファイルにアクセス権を与える)
```

4. MvSQL をログアウトする

mysql> quit;

以下のようにすると、ユーザーの作成とデータベースへの権限付与は同時に行うことができる。 mysql> grant all on example.\* 'sa'@'localhost' identified by '';

#### 2.2 データベースの作成

先ほど作成したユーザーで MySQL にログインする。

```
> mysql -u sa -p
Password: (そのまま Enter)
```

データベース (example) を作成する。

```
mysql> create database example ;
```

テーブル (employee) を作成する。

```
mysql> create table employee (
    -> id char(6) primary key,
    -> name varchar(100) not null,
    -> age int not null);
```

#### 2.3 サンプルデータを入れる

サンプルデータを入れる。データベースアプリを作るときは、最初にサンプルデータを入れておくように する。

```
mysql> insert into employee values ( 'EMP001', '湊 雄輔', 23);
mysql> insert into employee values ( 'EMP002', '綾部 みゆき', 22);
```

確認する。

mysql> select \* from employee;

データがちゃんと入っている。\*1

2 rows in set (0.00 sec)

<sup>\*1</sup> Windows では文字コードが Shift-JIS なので、漢字がうまく表示できない場合がある。そのときは、とりあえずローマ字など英字で入れておく。プログラムを実行したときに入力に漢字 (UTF-8) が使えればよい。

# 3 サンプルプログラム (p383) の作成

p383 に掲載されているサンプルプログラムの MySQL 版を書いてみる。 新規動的 Web プロジェクトを作成する。プロジェクト名は "mysql"。 "src" フォルダで以下のコードを書く。パッケージを作るなら "terminal" とでもしておく。

Listing 1 src/SelectEmployeeSample.java

```
import java.sql.Connection;
1
   import java.sql.DriverManager;
2
   import java.sql.PreparedStatement;
3
4 import java.sql.ResultSet;
   import java.sql.SQLException;
6
   public class SelectEmployeeSample {
7
8
     static final String USERNAME = "sa";
9
     static final String PASSWORD = "";
10
     static final String CONNECT =
11
                 "jdbc:mysql://localhost:3306/example";
12
13
     public static void main( String[] args ) {
14
       // データベースに接続
15
16
       try (Connection conn =
         DriverManager.getConnection( CONNECT, USERNAME, PASSWORD )) {
17
         // select 文
18
        String sql = "select_id,_name,_age_from_employee";
19
20
        PreparedStatement pStmt = conn.prepareStatement( sql );
21
        ResultSet rs = pStmt.executeQuery();
23
        while( rs.next() ) {
24
          String id = rs.getString("id");
25
          String name = rs.getString("name");
26
          int age = rs.getInt("age");
27
28
          System.out.println("ID:" + id);
29
          System.out.println("名前:" + name);
30
          System.out.println("年齢:" + age + "\n");
31
        }
32
       } catch (SQLException e) {
33
         e.printStackTrace();
34
       }
35
     }
36
   }
37
```

Timezone が設定されていないというエラーが出る場合、以下のようにする。 static final String CONNECT = "jdbc:mysql://localhost:3306/example?serverTimezone=JST"; これを 実行 – Java アプリケーション とすると、以下のように出力される。

ID:EMP001

名前:湊 雄輔

年齢:23

ID:EMP002

名前:綾部 みゆき

年齢:22